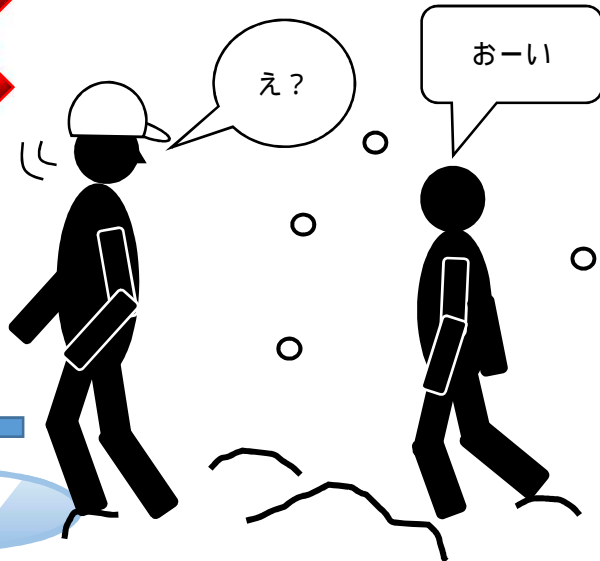


よそ見しながら歩かない!



冬道は

急がずあわてず

油断なく



慌てて走らない!

花巻労働基準監督署・管内労働災害防止連絡会議

スローガン: 林業、木材製造業労働災害防止協会
岩手県支部 北上分会様が考案

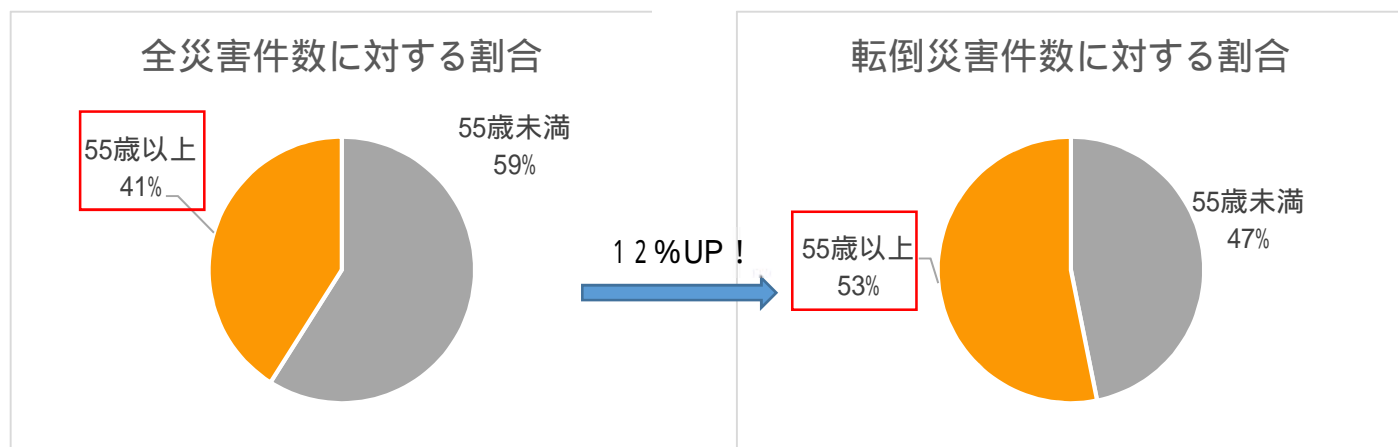
令和2年12月1日から令和3年1月31日まで **いわて年末年始無災害運動** 展開中!

(準備期間: 令和2年11月1日から令和2年11月30日まで)

労働災害発生状況(過去5年間の転倒災害)

冬季は積雪・凍結による転倒災害が多発します。過去5年間の冬季間(12月から2月まで)では、花巻署管内の転倒災害の件数(190件)は、全災害件数(484件)のうち、約39.3%を占めています。

また、年齢別の発生状況では、過去5年の冬季間について、55歳以上の労働者の割合は41%です。しかし、転倒災害のみに限定すると55歳以上の労働者の割合は53%となり、高齢者ほど転倒災害のリスクが増加するため、エイジフレンドリーガイドラインに基づく取組も求められています。



積雪・凍結を原因とした転倒災害防止のポイント

冬季転倒災害の起こりやすい箇所

駐車場や建物入口付近の通路は、雪が踏み固められ、段差や側溝等が積雪により隠れ、転倒のリスクが増大しますので、融雪剤の散布や、除雪・排雪等を徹底しましょう。

また、以上のような滑りやすい箇所をまとめた「危険マップ」を作成したり、ポールや標識の設置等「見える化」により注意喚起を行いましょ。

エイジフレンドリーと転倒災害

転倒に強い体づくり

一般的に加齢に伴って体力や筋力は低下していきます。事業者、高年齢労働者双方が体力の状況を客観的に把握し、労働者が自らの身体機能の維持向上に取り組めるよう、転倒等リスク評価セルフチェック票等を活用しましょう。

転倒等リスク評価セルフチェック票

検索

チェック票はこちら



また、心身の状態をチェックした後は、転倒に強い体を作るため、転倒予防体操に取り組みましょう。

高年齢労働者の安全衛生対策について

検索

転倒・腰痛予防！
「いきいき健康体操」
はこちら

